

## 第9回小郡市“社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式

12.2  
wed

小・中学生を対象に、日常生活の中で体験したことを基に、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文に書くことで、“社会を明るくする運動”に対する理解を深めてもらうことを目的として行っています。

最優秀賞および優秀賞の受賞者は次のとおりです(敬称略)。

### (小学生の部)

最優秀賞 野口晃陽(味坂小5年)  
優秀賞 福岡望生(味坂小5年)  
神崎麗央(大原小6年)  
和田暖乃花(大原小6年)

### (中学生の部)

最優秀賞 松本尚也(立石中2年)  
優秀賞 渡邊羽菜(三国中3年)  
高木麻衣(小郡中2年)



### 小郡市の地域医療に貢献

## 松隈孝則さんが「赤ひげ大賞」候補者に福岡県医師会から推薦されました

「日本医師会 赤ひげ大賞」は、地域の医療現場で長年にわたり健康を中心に地域住民の生活を支えている医師を顕彰する賞です。今年度のこの賞の候補として、松隈産婦人科クリニック院長の松隈孝則さんが福岡県医師会から推薦されました。

松隈さんは昭和61年に同クリニックを開設され、これまでに約7,800人の出産に携わられています。

また、日常の診療の傍ら、市内5中学校、小郡高校、三井中央高校などで、「氾濫する性情報の中から正しい情報を識別する力」、「自分自身で生きる力」を子どもたちに得て欲しいという願いから、地域の思春期教育、性教育にも熱心に取り組まれています。

平成17年から松隈さんが主宰されている「おごおり思春期教育懇話会」は、教師や教育委員会を含む行政の連携、知識の向上・共有を目的として企画され、これまでに13回の研修会を開催されています。

「おごおり思春期教育懇話会」に設立時から参加する高木副市長(同会設立時、市教育部長)は、「懇話会を通じて、参加者同士が子どもたちへの取組、悩みなどの意見交換することができ、中学・高校の教師間の情報共有や教師と教育委員会との連携が進められてきました。松隈先生には、これからも地域医療、学校保健活動に貢献していただきたいと思います」と話しました。



▲松隈孝則さん

## 「税に関する作文」表彰式

12.4  
fri

次世代を担う子どもたちに、学校教育の中で学習したことや自分自身の経験・体験などをとおして、税について考えたことを作文にすることで、税に関する関心を一層深めてもらおうと毎年行われています。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

### 第49回中学生の「税についての作文」

小郡市長賞 高木麻衣(小郡中2年)  
「平等に」を求めて」

### 第54回「税に関する高校生の作文」

小郡市長賞 篠原菜々子(小郡高校1年)  
「私たちにできること。」

